



議会だより

でいすかす

109号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2021.11.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください



令和3年第3回定例会

一般質問

議員12名が市政を問う

[P2~P4に掲載]

委員会だより

議長諮問事項に
対する取り組み
議会運営委員会

現在、本委員会では、本年5月に議長から示された諮問事項に取り組んでいます。

① 現行の議会ルールの総点検と改善では、議会条例や規則の改正に向けた点検作業、② 政務活動費の使途及び透明性の確保では、使途の基準となる手引書の作成、③ ICT活用のいっそうの推進では、オンラインを活用した委員会参加を認めるため、運用基準等の作成に取り組んでいます。

各項目とも調査内容や業務作業量が大きいことから、3つのグループに分けて調査を進めており、現在各グループのリーダーを中心に鋭意取り組みを進めているところです。これらの諮問事項に対する答申は、市民の皆さまが直接目にする機会が少ないかと思いますが、令和4年度末を目途に準備を進めている新しい議会ルールと、それらを踏まえ提出される議案や提案は、最終的には市民生活の向上につながるものと考えております。

(若木)

国会・政府に4件の意見書を提出

意見書は、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するために関係機関に提出するものです。

第3回定例会では、次の意見書を可決しました。詳しい内容は、市議会ウェブサイトをご覧ください。

- 特別支援学校の実効ある設置基準の策定及び特別支援学級の学級編制改善を求める意見書
- 出産育児一時金の増額を求める意見書
- 選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書
- 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

令和3年度議会フォーラム 開催決定！

日時：11月26日(金) 18時30分～
場所：登別市民会館2階 中ホール
テーマ：のぼりべつの今後のゆくえ
～次世代に残したい登別の未来を話そう～



▲申請フォーム



▲開催案内

※事前申し込みが必要です。詳細は町内会回覧または右の二次元バーコードからご確認ください。

令和3年度補正予算審査 〔令和3年9月13日予算・決算委員会〕

第3回定例会において、本委員会に付託された令和3年度各会計補正予算案の審査は、コロナ禍の状況を鑑み通告制としました。質疑のあった事業は、一般会計歳出のうち、総務費の公共施設持続化・感染リスク対策支援金317万円、民生費の一時預かり事業費502万円それぞれ質疑を行い、歳出の教育費と歳入全般は特に質疑なく、全会一致で原案のとおり可決しました。また、国民健康保険特別会計補正予算および介護保険特別会計補正予算については特に質疑なく、全会一致で原案のとおり可決しました。

(二瓶)

令和3年第3回定例会における議案の賛否状況

第3回定例会で上程された議案はすべて可決され、否決された議案はありませんでした。

インクルーシブ教育の

推進を

井野正臣



井野議員の一般質問
中継はこちら

質 障がい者の権利に関する条約に基づき、障がいの有無に関わらず、共に学べるインクルーシブ教育システムの構築が必要と考えるが、これらを推進していく上で、社会に与える影響をどのように捉えているのか。

答 インクルーシブ教育システムの構築の考えとして、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合つこと。

また、多様な在り方を相互に認め合い参加できる共生社会の実現を目指した上で、障がいに対する理解や他者への思いやりなど、社会に与える影響は大きいと認識している。

質 特別支援教育の課題は。

答 本人にとって最適な環境や必要な指導・支援について、保護者と学校、教育委員会が協議していく中で、方向性を一致させられないことがある。本人にとっての最善を見いだせるように努めていく。

高齢者が心豊かに

生活できる市政を

渡辺勉



渡辺議員の一般質問
中継はこちら

高齢者の経済環境は、ますます厳しさを増しています。年金支給額の引き下げ、医療費の窓口負担の2倍化など、高齢者にとって厳しい世の中で、高齢者等緊急通報機器設置事業（緊急通報システム）と、認知症高齢者等GPS

貸与事業の見直しが提案されました。

これまで2つの事業は無料でしたが、今後は福祉用具貸与の対象となるために、今までどおり利用すると月々2千405円の支出となることなどについて質問しました。

質 高齢者の生活が厳しい状況の中、新たな負担による事業の提案ではなく、交付金・補助金等を利用するという方向で新事業の提案をすべきである。

答 地域で安心して生活するための取り組みを進めていきたい。

高齢者人口が増える中、命を守るための事業で命を削るようなことがあってはならないと主張しました。

経済活性化に

ふるさと納税の活用を

今野幹大



今野議員の一般質問
中継はこちら

質 ふるさと納税返礼品を市内で利用できる電子商品券化実施への考えは。

まえ、新たに追加する方向で検討を進めている。

質 返礼品の電子商品券化は持続可能な経済対策となるので、関係団体と連携を図り、積極的に経済対策として取り組むべきでは。

答 市内に訪れる旅行者は、来訪時にふるさと納税を行うことで、その場で電子化された商品券を返礼品として利用可能となるため、市の経済対策としても効果を得ることができると考える。

今後、市内の事業者や経済団体などとの連携に努め、ふるさと納税返礼品の電子商品券化を進めていきたい。

コロナ禍における

企業誘致等の現況は

成田昭浩



成田議員の一般質問
中継はこちら

質 コロナ禍における、これまで本市が実施してきた創業支援、空き店舗対策、企業誘致に関する取り組み状況は。

する補助金などにより、商工会議所とも連携しながら事業所支援を行う。また、テレワークなどの取り組みを行う企業も増えてきていることを背景に、国の交付金を活用し、日本工学院の空き教室を利用したサテライトオフィス等の整備を支援しており、企業には、この施設の活用も視野に入れながらPR活動を行っていきたい。

東京一極集中から地方へ向けた関心が高まっています。移住促進も含め、創業支援、新たな起業促進、企業誘致、空き店舗対策等、魅力ある地域づくり、地方創生の推進に、改めて強力に取り組む必要性をただしました。

高齢者が外出しやすい
環境の整備を
小栗義朗



小栗議員の
一般質問
中継はこちら

質 昨年、本市が高齢者を対象に行つた外出頻度の調査では、75歳以上の高齢者の3人に1人がほとんど外出しない、または週1回と回答している。高齢者人口は今後も増え続け、これにより運転免許証の自主返納者も増え

るものと予想される中、主な移動手段が公共交通になることで、外出意欲を失い、外出頻度がさらに減ることも考えられるが、高齢者に対する外出支援策の検討は。

答 外出支援策として、持続可能な公共交通網の確保、公共交通空白地域の移動支援、免許返納者の移動手段の確保など、地域公共交通活性化協議会等で検討している。

質 少しでも経済的負担を軽減できれば外出意欲も増すのでは。
答 高齢者向けの割引制度の検討を行っている。

子ども基金設置の考えは

千田文孝



千田議員の
一般質問
中継はこちら

質 子どもたちの健やかな育ちを支えるよう、市民が主体的に行う子育て支援活動や、児童健全育成活動の振興、子どもが夢や希望を持てるまちを実現するため、子ども基金を設置し、ふるさと納税や市民からの寄附により、基

金に繰り入れ、希望される事業や団体等への支援を行う自治体がある。

答 現時点では、子ども基金の設置は考えていないものの、子育て施策の充実や、多くの方々への本市の子育て施策のPRは重要と考えている。

質 寄附を頂くにしても、施策への共感が重要であり、同時に財源の確保が課題である。
答 どのような取り組みができるのか、検討することが重要と感じている。

(仮) 情報発信拠点施設
の開設後は
米田登美子



米田議員の
一般質問
中継はこちら

質 (仮) 登別市情報発信拠点施設にアイヌ文化の展示スペースを設ける予定であるが、観光客などからアイヌ文化に関する質問があった場合、説明できるようにするのか、現時点の考えは。
答 施設の管理・運営方法は検討中であるが、例えば指定管理者制度を導入した場合は、文化の普及・啓発や情報発信も公募要件としたい。

質 当該施設には避難所としての機能もあるが、新型コロナウイルス感染症についてはどのように対応するのか。
答 避難所開設時は、本市の避難所運営マニュアルに基づき、感染拡大防止の観点から適正な受入避難者数を設定するほか、パーティションや簡易テントなどにより可能な限り区画し、各2メートル程度の間隔を確保する。また、機械による24時間換気を取り入れることとしている。

将来を見据えた
スポーツ施設計画を

宮武祥子



宮武議員の
一般質問
中継はこちら

質 廃止の検討を進めている富岸青少年会館や、老朽化した施設などが廃止になった場合の今後の考えは。
答 既存施設の有効活用を第一に考え、グラウンドなども含めた学校開放の拡大や、統廃合により廃止となる小・中

学校等の利活用などを検討していく。
質 今後、青少年向け施設が全て廃止となった場合、既存施設において子どもたちが優先利用できるよう、ルールを変更する考えは。

答 仮に施設を廃止することとなった場合、その他の施設を優先的に使用できるような対応は難しいと考えるが、廃止となる施設の利用団体がその後も継続して活動できるよう支援する。

質 スポーツ施設に特化した施設計画策定に対する考えは。
答 現在における多くの課題を考慮しながら、将来を見据えた計画の策定に向けて取り組みを進める。

令和3年度の財政状況は



天神林議員の
一般質問
中継はこちら

天神林 美彦

質 市政運営における新型コロナウイルス感染症の影響については、各種事業の延期や中止などにより、計画通りの目標値に届かないなどの影響が出ていると認識しているが、財政に与えている影響は。

答 令和3年度の財政に与えている影響は、歳出面の感染症対策事業については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを財源としていることから、財政的な負担は生じておらず、昨年度と同様に、内容変更や中止事務事業があることから、一定程度の執行残が見込まれる。
歳入面では、入湯税が見込みと比べ低調に推移しており、今後も大きな影響が懸念されるが、その他の税については、当初予算において、均衡予算編成をしており、現状ではコロナ禍にあっても、安定的に財政運営を行っているものと認識している。

市役所新庁舎の建設位置は



佐々木議員の
一般質問
中継はこちら

佐々木 久美子

質 新しい津波浸水予測に係る本市の対応と市民説明会で宮城県塩竈市の震災時の様子を示したが、その教訓は。
答 北海道から津波浸水想定が公開され、市役所本庁舎敷地の津波浸水深が最大で7mを超える津波が庁舎に押し

寄せることが示された。
検討したところ、理論上は建設が可能であるとの結論に至ったが、震災翌日も海水は引いておらず、がれきや海水により道路が寸断され、道路の通行が3日間困難となったことから、本市も同様の状況となり、防災拠点としての機能維持が困難となる可能性があるため、高台での建設を検討するきつかけとなった。
質 新庁舎の建設場所に係る本市の考えは。
答 幌別地区の高台に建設することとした。

子どもたちに寄り添う体制づくりを



足立議員の
一般質問
中継はこちら

足立 知也

質 子どもが不安や悩みを抱えたとき、誰に、どのように助けを求めればよいのか、具体的かつ実践的な方法を学び取り組みは。
答 教育委員会教育指導室が整理した資料「児童生徒の自殺予防対策」およ

び「いじめのない学校づくり」を提示し、各学校においてSOSの出し方に関する教育を推進している。
質 子どもたちの声を直に聴く体制づくりを優先して行う取り組みは。
答 子どもの困り感や、生活リズムの乱れなどを敏感に察知するため、学校では管理職のリーダーシップの下、職員会議等の時間を活用しながら、教職員が知り得た子どもたちの情報を共有するとともに、家庭との連携はもとより、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員、関係機関との連携によるサポート体制の確立に努めている。

共同墓の維持管理は



田中議員の
一般質問
中継はこちら

田中 寛志

質 共同墓の墳墓や周囲ののり面の芝生の状態がいまだに土がむき出しのままであり、整備が必要と思うが今後の対応は。
また、供用から3年が経過し、お墓の設備として、花立て、線香皿、ろう

そく立てが必要との要望があるが、本市の考えについて伺う。
答 共同墓の墳墓や周囲の芝生については張り替えを予定しており、線香皿は石製のものを検討する。
質 ふるさと納税の返礼メニューに、共同墓の代理墓参りや隣接するお墓のメンテナンスを取り入れてはどうか。
答 ふるさと納税の返礼メニューについては、検討している。
本市の共同墓に墓誌がないことにより、埋葬されている方の確認ができないため、二次元バーコードを利用した登別版デジタル墓誌の作成を提案しました。

[令和3年第4回定例会は、12月3日(金)から開催される予定です。]